

自画撮り被害の主な事例

1. 執拗に画像送信を働きかけられた事例

A（中学生・女子）は、男性Bと無料通話アプリで交友していたが、ある日、Aは裸の写真を送るようBから催促されるメッセージを受信した。

Aは、相手にせず「いやだ」と断っていたが、Bからしつこく催促のメッセージが来た。

Aは断ることに疲れ、あきらめた気持ちになり、自分の上半身裸の写真を撮影し、送信してしまった。

2. 同性になりすました相手から、体の悩み相談を装って画像送信を働きかけられた事例

C（高校生・女子）は、ゲームアプリで知り合った女性（実際は男性）Dに、体についての相談にのってもらったところ、Dから「相談に必要なだから顔、胸、性器等の写真を撮って送ってほしい」などと言われた。

Cは、Dに言われるがまま、自分の性器等を撮影し、送信してしまった。

その後、Dから実は自分が男性であることを知らされ、連絡がとれなくなってしまった。

3. 威迫により画像送信を働きかけられ、エスカレートして強姦被害にまで及んだ事例

E（学校区分不明・女子）は、大学生と名乗る男性FとSNSで知り合い、無料通話アプリで連絡を取るようになった。

Eは、他愛もないことでFから怒られ、これを契機に「胸の写真を送って」、「土下座した全裸の写真を送って」等とFから申し向けられるようになった。

Eは、断るとまた怒られると思い、自分の胸の写真と、裸で土下座した写真を撮影し、Fに送信してしまった。

1か月後、EはFと会うことになり、ホテルで無理やり性交させられた。

4. 金銭の支払いを約束して画像送信を働きかけられたが支払われず、エスカレートして強姦被害にまで及んだ事例

G（高校生・女子）は、インターネット上で知りあった男性Hにお金を支払う代わりに裸の写真を送ってほしいと言われた。

Gは、Hに裸の写真を送ったが、お金は支払われなかった。

さらに、「Gの裸の写真を売るぞ」「売らない代わりに会ってくれたら写真を消す」とHから言われ、どうしたらいいのか分からないままHに会ったところ、無理やり性交させられた。

5. 執拗に画像送信を電話で働きかけられ、エスカレートして脅迫被害にまで及んだ事例

I（高校生・男子）は、男性Jとインターネット上で知り合い、電話番号とメールアドレスを交換し、連絡をとるようになり、Jからしつこく裸の画像を送るよう求められた。

Iは、Jがあまりにもしつこいので困ってしまい、一度だけ自分の裸の写真を送ってしまった。

すると、Jから「顔が可愛いからまた送れ」と言われ、Iは断っていたが、今朝も電話がかかってきて「裸を見せないと殺すよ」と脅迫された。